

官民研究開発投資拡大プログラムについて

PRISM (Public/Private R&D Investment Strategic Expansion Progra**M**)

令和 2 年 9 月

内閣府
政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

エスアイビー

1. 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

総合科学技術・イノベーション会議が府省・分野の枠を超えて自ら予算配分して、基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据えた取組を推進。

プリズム

2. 官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM)

平成30年度に創設。高い民間研究開発投資誘発効果が見込まれる領域に各府省庁の研究開発施策を誘導し、官民の研究開発投資の拡大、財政支出の効率化等を目指す。

3. ムーンショット型研究開発制度

日本発の破壊的イノベーションの創出を目指し、解決困難な社会課題等を対象として国が野心的な目標及び構想を掲げ、世界中から研究者の英知を結集し、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を推進。

官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）概要

- Ⅰ 官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）は、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）の**司令塔機能を強化**するために、平成30年度に創設（100億円）。

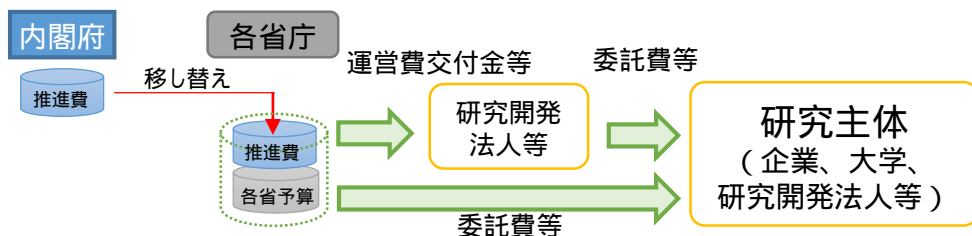
【目的】

民間研究開発投資誘発効果の高い領域又は**財政支出の効率化に資する領域**への各府省庁施策の誘導を図ることを目的とする。

【事業概要】

- ガバニングボードは、領域を設定し、予算の配分等に強い権限をもった領域統括の下、**統合イノベーション戦略に基づく各種戦略の実現に必要な施策を、トップダウンで決定**。対象施策に係る研究開発の加速、新規研究開発課題の前倒し等が必要となる経費を、内閣府より追加配分。＜研究開発型：平成30年度より実施＞
[令和2年度領域：AI技術、建設・インフラ維持管理 / 防災・減災技術、バイオ技術、量子技術]
- 国立大学における民間資金獲得についても推進**することにより、官民の研究開発投資を誘発。＜システム改革型：令和元年度より実施＞。
- スタートアップ・エコシステム拠点形成による創業環境整備を推進**することにより、スタートアップを支援し、官民の研究開発投資を誘発。＜システム改革型：令和2年度より実施＞

資金の流れ



期待される効果

- イノベーション創出につながる**官民研究開発投資の拡大**。
- 民間資金・寄付金など外部資金を拡大できる経営基盤の形成による、**大学等に対する企業の投資額の増大**。
- スタートアップ・エコシステム拠点の形成による、**スタートアップへの投資額の増大**。

PRISM（研究開発型）に係る実施体制

総合科学技術・イノベーション会議

ガバニングボード

プログラム統括

PRISM審査会

領域統括
運営委員会（領域ごと）

議長：内閣総理大臣

議員：内閣官房長官、科学技術政策担当大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣
有識者議員（8名）

CSTI 有識者議員（8名）

上山隆大（常勤）、
梶田隆章、梶原ゆみ子、小谷元子、小林喜光、篠原弘道、橋本和仁、松尾清一（非常勤）

内閣府政策参与（1名） 須藤亮

CSTI 有識者議員 + 外部有識者 + プログラム統括（5名）

橋本和仁（座長）、上山隆大、篠原弘道、久間和生（外部）、須藤亮（プログラム統括）

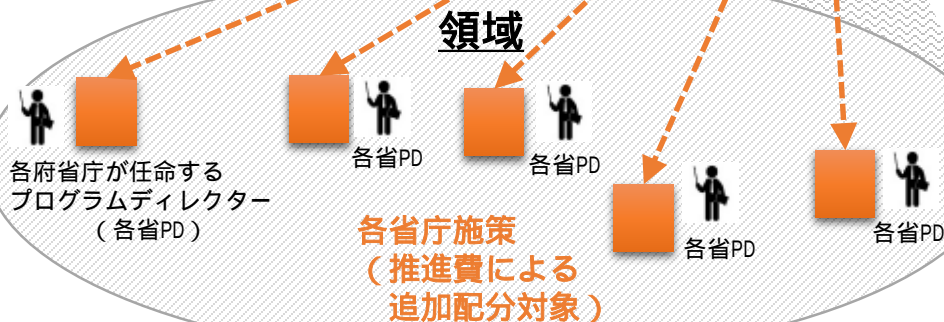
領域統括（4名）：領域ごとに1名 / 運営委員：領域ごとに2～8名

- 《対象施策》への予算の追加配分
- 《対象施策》間の連携促進

運営委員会
座長：領域統括

推進費の配分により

- ・研究開発の加速
- ・新規研究開発の前倒し
- ・事業化への取組みの加速 等



AI技術領域

【領域統括】
安西祐一郎



日本学術振興会顧問
人工知能技術戦略会議
議長

【主要分野】
ü AI / IoT / ビッグ
データ

革新的建設・イン
フラ技術/革新的
防災・減災技術
領域

【領域統括】
田代民治



鹿島建設株式会社常任
顧問

【主要分野】
ü 建設：i-Construction
ü インフラ維持管
理：点検、診断、
補修、長寿命化
ü 防災・減災：予防、
予測、被害軽減、
早期機能復旧

バイオ技術領域

【領域統括】
小林憲明



キリンホールディングス
株式会社取締役常務
執行役員

【主要分野】
ü バイオ素材
ü ヘルスケア・機能
性食品
ü 持続的一次生産シ
ステム
ü 資源循環利用

量子技術領域

【領域統括】
荒川泰彦



国立大学法人東京大学
ナノ量子情報エレクト
ロニクス研究機構特任
教授

【主要分野】
ü 量子融合イノベ
ーション：量子AI技
術、量子生命技術、
量子セキュリティ
技術

PRISM（システム改革型）に係る実施体制

総合科学技術・イノベーション会議

ガバニングボード

プログラム統括

審査・評価委員会

議長：内閣総理大臣

議員：内閣官房長官、科学技術政策担当大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣
有識者議員（8名）

CSTI 有識者議員（8名）

上山隆大（常勤）、
梶田隆章、梶原ゆみ子、小谷元子、小林喜光、篠原弘道、橋本和仁、松尾清一（非常勤）

内閣府政策参与（1名） 須藤亮

CSTI 有識者議員 + 外部有識者（7名）

○ 上山隆大 CSTI有識者議員（座長）

【国立大学イノベーション創出環境強化事業委員】

- 五十嵐仁一 ENEOS総研株式会社代表取締役社長
- 岸本康夫 JFEスチール株式会社スチール研究所研究技監
- 本山和夫 東京理科大学理事長
- 渡辺裕司 元株式会社小松製作所執行役員経営企画室副室長

【スタートアップ・エコシステム形成推進事業委員】

- 菅 裕 明 東京大学大学院理学系研究科教授、ミラバイオロジクス株式会社取締役
- Victor Mulas World Bank, Senior program officer

【国立大学イノベーション創出環境強化事業】

審査・評価委員会
座長：CSTI 有識者議員

国立大学
（新規）

公募要領に基づ
き応募

国立大学
（既採択）

フォローアップ
に係る報告書

- Ⅰ 応募大学の審査
- Ⅰ 対象大学の選定
- Ⅰ 対象大学の推進費の配分案作成
- Ⅰ 対象大学のフォローアップ

外部資金獲得実績等に応じたインセンティブとなる資金を配分

【スタートアップ・エコシステム形成推進事業】

審査・評価委員会
座長：CSTI 有識者議員

拠点都市

事業実施主体

フォローアップ
に係る報告書

- Ⅰ 実施方針の策定
- Ⅰ 実施状況のフォローアップ

アクセラレーションプログラムの実施に必要な資金を配分